

大麦の出穂予想と 今後の管理

長岡農業普及指導センター
麦作情報No. 3

代表電話 0258-38-2554

E-mail ngt111440@pref.niigata.lg.jp

今後の管理とポイント ～高温で生育早まる。作業の遅れに注意～

- ・ 止葉抽出期追肥を必ず施用しましょう！
- ・ 出穂期を確認し、赤かび病防除を適期に必ず2回実施しましょう。

1 生育状況 ※平年値は過去10年の平均

- 長岡アメダス観測地点における今年の消雪日は3月8日頃（平年差+9日、前年差-6日）、根雪期間は68日間（平年差+10日、前年差-10日）となりました。
- 管内の茎立期は4月1日（平年差+6日、前年差-5日）でした。止葉抽出期は管内平均で4月12日頃（平年差+2日、前年差-4日）とみられ、消雪日が遅かったものの3月中旬以降の高温傾向により生育が早まり、平年並に近づいています。
- すでに止葉抽出期を迎えているほ場が多く見られます（4月16日現在）。まだ止葉抽出期追肥を実施していないほ場では、早急に追肥しましょう。

2 止葉抽出期・出穂期予想

地域	止葉抽出期	出穂期（予想）
長岡・三島	4月11日～4月20日	4月26日～5月4日頃
寺泊・出雲崎	4月5日～4月15日	4月21日～5月1日頃

※今後の気象により、出穂期が前後する可能性があります。

※出雲崎町の山間地の一部ほ場では消雪時期の影響で出穂期が5月6日頃にずれ込むと予想されます。ほ場毎に生育の確認を徹底しましょう。

3 赤かび病防除の徹底（適期の2回防除を必ず実施！）

(1) 感染・発生

- ・ 開花期から乳熟期に感染し、収量や品質を低下させる。
- ・ 症状等は穂の病斑部に淡紅色のカビを生ずる。
- ・ 出穂期～乳熟期に雨が**多い**高温年に多発する。

【赤かび被害粒の基準】

食用麦の農産物検査基準（規格）では、赤かび粒の混入限度は0.0%。

⇒ 10,000粒に5粒赤かび粒があると規格外になります。

(2) 防除時期（被害粒の発生を抑制するため、適期の2回防除が重要！）

- ・ 防除適期：1回目 ⇒ 開花始めから開花期（出穂期の4～7日後頃）

※ 出穂期は、全茎の40～50%が出穂した日

※ 開花を始めた時（開花始め）から全ての花が咲き終わるまでに1週間ほどかかる。

2回目 ⇒ 1回目の7～10日後

※ 防除は適期を逃さないことが重要であり、防除適期に降雨が多い場合であっても晴れ間を利用し、確実に防除を実施する。

出穂期が5月1日の場合、1回目の防除適期は5月5日～5月8日頃